



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月14日

上場会社名 JMACS株式会社

上場取引所 東

コード番号 5817 URL <http://www.jmacs-j.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 薬師川晋一

TEL 06-4796-0020

四半期報告書提出予定日 平成29年7月18日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	1,193		44		58		34	
29年2月期第1四半期								

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 39百万円 (%) 29年2月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	7.36	
29年2月期第1四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	6,917	4,585	66.3
29年2月期			

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 4,585百万円 29年2月期 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		10.00	10.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,130		210		260		170		36.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成30年2月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	4,691,555 株	29年2月期	4,691,555 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	31,898 株	29年2月期	31,838 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	4,659,702 株	29年2月期1Q	4,659,717 株

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成30年2月期第1四半期連結累計期間より、上海皆碼嗣电气有限公司とHONG KONG JMACE LIMITED.の海外子会社2社の重要性が増したため、同社を連結の範囲に含め連結決算に移行しました。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当社グループは当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率並びに前事業年度の数値との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種政策を背景に、海外経済の回復により輸出が景気の牽引役となり、実質GDP成長率がプラス基調で推移するなど、緩やかに持ち直してまいりました。

一方で、米国や欧州の政治動向や中東情勢等の地政学リスクなどにより、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

電線業界におきましては、今後東京オリンピックを控えてインフラ建設等の需要の盛り上がりが見込まれる中で、銅電線出荷量の主要な需要部門である建設・電販部門が緩やかな伸びを見せるなど、内需全体は、回復傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、経営方針として、1. 攻撃こそ最大の防御である。(攻めの経営) 2. 世のため人のための事業を行う。3. スピードと技術、素早い対応という伝統を死守。を掲げ、平成29年6月1日付で国際営業部を新設し、グローバル化も視野にマーケティング機能を拡充、トータルソリューション事業の将来の収益基盤を確固たるものにするための先行投資として、社会のニーズにマッチした製品の開発を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,193,525千円、営業利益44,488千円、経常利益58,228千円、親会社株主に帰属する四半期純利益34,297千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成したことに伴い、報告セグメントとして「海外事業」を新たに追加し、報告セグメントを従来の「電線事業」と「トータルソリューション事業」の2区分から、「海外事業」を含めた3区分としております。

<電線事業>

電線事業につきましては、景気が回復基調の中で、東京オリンピック等の建設投資の伸びを背景に、インフラ整備の需要回復を受けて堅調に推移した結果、売上高1,172,801千円、セグメント利益88,540千円となりました。

<トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、IoTやAI関係の成長分野において、市場のニーズに迅速に対応しつつ製品開発を加速させるため、ソフト開発エンジニア等を補強のうえ組織を拡充し、販路拡大に向けた体制整備とパッケージ開発に注力した結果、売上高20,219千円、セグメント損失33,432千円となりました。

<海外事業>

グローバル化推進の一環として中国市場を開拓する目的でHONG KONG JMACS LIMITED. を統括会社として、平成28年6月に独資により上海皆碼嗣电气有限公司を設立いたしました。

設立後、現地採用を含めた人員の確保及び管理体制の整備を優先した結果、売上高504千円、セグメント損失10,619千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は6,917,461千円となりました。

流動資産は、2,728,012千円となりました。その主な内訳は現金及び預金355,916千円、受取手形及び売掛金1,582,248千円、商品及び製品294,683千円、原材料及び貯蔵品242,246千円等です。

固定資産は、4,189,448千円となりました。その主な内訳は建物及び構築物1,116,312千円、機械装置及び運搬具191,445千円、土地1,045,837千円、投資不動産1,585,125千円等です。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の総負債残高は2,331,660千円となりました。

流動負債は、1,333,506千円となりました。その主な内訳は支払手形及び買掛金911,253千円、短期借入金200,000千円等です。

固定負債は、998,154千円となりました。その主な内訳は長期借入金711,875千円、退職給付引当金107,681千円、役員退職慰労引当金147,616千円等です。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産残高は4,585,800千円となりました。その主な内訳は資本金647,785千円、資本剰余金637,785千円、利益剰余金3,245,505千円等です。

この結果自己資本比率は66.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年7月14日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成29年5月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	355,916
受取手形及び売掛金	1,582,248
電子記録債権	94,058
商品及び製品	294,683
仕掛品	116,275
原材料及び貯蔵品	242,246
その他	42,752
貸倒引当金	△168
流動資産合計	2,728,012
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	1,116,312
機械装置及び運搬具（純額）	191,445
工具、器具及び備品（純額）	24,193
土地	1,045,837
有形固定資産合計	2,377,789
無形固定資産	7,762
投資その他の資産	
投資不動産（純額）	1,585,125
その他	218,771
投資その他の資産合計	1,803,897
固定資産合計	4,189,448
資産合計	6,917,461
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	911,253
短期借入金	200,000
1年内返済予定の長期借入金	42,500
未払金	71,642
未払法人税等	13,234
未払消費税等	18,325
賞与引当金	45,549
その他	31,000
流動負債合計	1,333,506
固定負債	
長期借入金	711,875
退職給付に係る負債	107,681
役員退職慰労引当金	147,616
その他	30,981
固定負債合計	998,154
負債合計	2,331,660

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成29年5月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	647,785
資本剰余金	637,785
利益剰余金	3,245,505
自己株式	△15,264
株主資本合計	4,515,810
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	71,774
為替換算調整勘定	△1,784
その他の包括利益累計額合計	69,989
純資産合計	4,585,800
負債純資産合計	6,917,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	1,193,525
売上原価	883,242
売上総利益	310,282
販売費及び一般管理費	265,794
営業利益	44,488
営業外収益	
受取賃貸料	16,879
その他	1,220
営業外収益合計	18,099
営業外費用	
支払利息	2,005
賃貸収入原価	2,299
その他	55
営業外費用合計	4,360
経常利益	58,228
税金等調整前四半期純利益	58,228
法人税、住民税及び事業税	10,487
法人税等調整額	13,443
法人税等合計	23,930
四半期純利益	34,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,297

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	34,297
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	7,157
為替換算調整勘定	△1,784
その他の包括利益合計	5,372
四半期包括利益	39,669
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	39,669

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数及び連結子会社の名称

①連結子会社の数	2社
②連結子会社の名称	上海皆碼嗣電気有限公司 HONG KONG JMACS LIMITED.

(2) 非連結子会社の数及び非連結子会社の名称

①非連結子会社の数	1社
②非連結子会社の名称	上海日芦貿易有限公司

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は清算を完了し、売上高、当期純損益等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 連結子会社の四半期決算日等に関する事項

連結子会社の四半期決算日が四半期連結決算日と異なる会社は次のとおりであります。

会社名	四半期決算日
上海皆碼嗣電気有限公司	平成29年3月31日
HONG KONG JMACS LIMITED.	平成29年3月31日

(注) 四半期連結財務諸表の作成に当たっては、連結子会社の四半期決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	電線事業	トータルソ リューション 事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,172,801	20,219	504	1,193,525	—	1,193,525
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	1,856	835	2,841	△2,841	—
計	1,172,952	22,075	1,339	1,196,366	△2,841	1,193,525
セグメント利益又は損失 (△)	88,540	△33,432	△10,619	44,488	—	44,488

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」に記載のとおり、上海皆碼嗣電気有限公司とHONG KONG JMACS LIMITED. を連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントとして「海外事業」を新たに追加しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。